

[第1回]



栃木県知事

福田富一氏

「ベリーグッド ローカル とちぎ」へ
ようこそ

栃木県は、関東平野の北部に位置し、首都圏と北日本との結節点となっています。豊かな自然、伝統文化、活力あふれる産業が存在する「住みやすさNo.1」の県なのですが、残念ながら、多くの日本人には、栃木県のすばらしさをご理解いただけていません。今回、宇都宮市に所在する栃木県庁を訪問し、福田富一知事から、栃木県の魅力、県内産業の現状と産業振興の方向性、ご自身が知事を目指されたきっかけと志などについて、じっくりお話を伺いました。

栃木県の魅力 ～県民性～

— 本日は、公務が大変お忙しい中、インタビューに応じていただき、ありがとうございます。はじめに、大変漠然とした質問で恐縮なのですが、福田知事が感じておられる栃木県の魅力とは、どのようなものなのでしょうか。

福田 栃木県の魅力は様々あり、一言で申し上げることは難しいのですが、第一に挙げられる点は、「真面目な県民性」であると思います。他の都道府県と同様、我が県でも、昨年末から本年1月にかけて、新型コロナウイルスの感染者が数多く出ました。このため、1月末から2月にかけて緊急事態宣言が発出され、申し訳ないことながら、飲食店の皆様

方には、時短営業をお願いいたしました。これに対し、99%のお店が県庁の要請に協力してくださいました。その結果、2週間で感染拡大を止めることができました。

— 県庁がお願いしても、なかなか協力していただけない、といった県も数多く見られる中で、それはすごいことですね。



福田 また、先般県内の工場を訪問した際、髪の毛を茶色に染めた若い方が働いておられました。私のような世代の人間からすると、「ちゃんと働いているのかな」と思ったのですが、社長さんや工場長さんにお聞きすると、「去年入ったばかりの社員ですが、仕事ぶりは真面目で、仕事をきっちりこなします」ということでした。

栃木県の魅力 ～交通の便利さ～

— 栃木県民の生真面目さや勤勉性は、企業にとっても魅力でしょうね。

次に挙げるべき栃木県の魅力は、何でしょうか。

福田 巨大マーケットである首都圏との近接性が挙げられると思います。現在でも、東北新幹線を使えば、宇都宮駅から東京駅まで最短48分で行けますが、新幹線のスピードアップが計画されており、更に5分間程度は短縮されるはずです。天気が良ければ、県庁本庁舎から東京スカイツリーや富士山を見ることがもできます。

— 東北新幹線だけでなく、南北には東北自動車道、東西には北関東自動車道が走っており、栃木県の交通の便は大変いいですね。また、両毛地域も、東武伊勢崎線が走っており、簡単に東京に行くことができます。私は、足利市の産業団地を販売していたことがあったのですが、交通の至便性から、あっという間に完売できたことを覚えています。

福田 企業立地についてお話しすると、県内では工場の新設が相次いでいます。経済産業省の工場立地動向調査によれば、2020年の工場立地件数は36件（全国第7位）、立地面

積は92ha（全国第3位）となっています。

— 先ほど、「栃木県産業団地案内」を見させていただいたのですが、分譲済や商談中となっている区画が多く、なかなか進出する土地を探すのも大変だな、と思いました。

福田 県内には、まだまだ企業が進出できる場所が多くあります。栃木県に関心を持たれた企業関係者の皆様には、是非栃木県庁の産業政策課にご相談いただければと思います。

栃木県の魅力 ～バランスの取れた産業構成～

— 栃木県に、数多くの企業が立地しているとすれば、産業も活性化しているということでしょうか。

福田 栃木県の産業構成は、農業、商業、工業のバランスが取れていることが特徴として挙げられます。広大な農地や良質で豊かな水を基に、農業や畜産業が盛んであり、農業産出額は全国第9位です。特に、イチゴの収穫量は、52年連続日本一を誇っています。また、製造業について言えば、大手企業や技術力の高い中小企業が集積しており、製造品出荷額は全国第13位です。多様な産業が集積している結果、県民所得は、全国第3位となっています。

— 栃木県と言えば、観光資源も豊かですね。

福田 栃木県内には、日光国立公園及び尾瀬国立公園があり、自然が豊かで四季折々の変化が繊細です。また、文化遺産としては、世界遺産となっている日光の社寺や、日本遺産となっている足利学校があります。更に、栃木県内には、国宝が17件



足利学校

(工芸品10件、建造物7件)あり、これは、全国第10位です。栃木県より上位にランキングされているのは、昔、都が置かれていた東京都、京都府、奈良県などであり、都が一度も置かれたことのない都道府県としては、かなりの数があると思っています。

多くの日本人は、 栃木県の魅力を知らない

— こうして、栃木県の魅力についてお話を伺っていくと、何故栃木県のすばらしさが、多くの日本人に伝わらないのか、と誤ってしまいます。ある民間調査会社の行う「都道府県魅力度ランキング」では、北関東各県のランキングは、あまり高くありません。その理由を、どのようにお考えですか。

福田 栃木県に観光に来て宿泊される方の数を数えると、東京・神奈川・埼玉・千葉が、全体の6割強、そこに茨城・群馬が入りますと7割強となります。逆に申し上げれば、東北、関西、中国、四国の方々は、栃木県に來られたことがなく、栃木県のことを全くご存じありません。したがって、そういう方々を対象に、「栃木県に魅力を感じますか」とお尋ねしても、ポジティブな回答は得られないこととなります。

— なるほど、「魅力を感じない」というより、「どこに魅力があるかわからない」ということなのですね。

福田 一度栃木県に來られれば、その魅力を感じていただける可能性も高いのです。一つ具体例を申し上げます。7～8年前のことですが、愛媛県八幡浜市の大手和菓子会社が、東北方面での販路拡大も見込んで、関東エリアに工場をつくりたい、

ということで、関東各県を視察されました。当初、栃木県は工場立地候補として考えられていなかったのですが、現場を見てみると、「東京に近い」、「土地の値段が安い」そして何より「水が良質である」ということで、佐野市に工場をおつくりになりました。現在、その工場では、一日数十万個の和菓子がつくられており、更に工場を拡張する計画もある、と聞いております。

栃木県の産業の将来像 ～製造業～

— 栃木県が、既に有数の「モノづくり県」であることはわかりましたが、今後、どのように発展させていくおつもりでしょうか。

福田 栃木県には、現在、自動車産業、航空宇宙産業及び医療福祉機器産業の大手企業が立地しており、これをサポートする技術力の高い中小企業があります。この栃木県の製造業の強みを更に強化することを目的として、2021年3月に、「新とちぎ産業成長戦略」を作りました。この中では、先ほど述べた3つの産業を、本県のものづくりの「戦略3産業」と位置付け、重点的に支援を行うとともに、AI・IoT・ロボット技術、光学技術、環境・新素材技術を「未来3技術」と位置付け、戦略3産業と未来

3技術とかけ合わせることによって、新技術、新製品の開発、戦略3産業等への活用の促進を図り、更なるものづくりの発展を目指したいと思っています。その中で、国の進めるカーボンニュートラルも念頭に置いて、産業振興を図って参ります。

AI・IoTに関しては、5月31日に、「とちぎビジネスAIセンター」を開所いたしました。同センターでは、普及啓発、相談支援、人材育成、導入支援、この4本柱で一貫して県内の中小企業等を支援することとしています。個別相談などのきめ細かな支援も行いながら、AIの基礎講座や専門研修講座を開き、企業における人材育成を図って参りたいと思っています。

また、現在、県内企業と大学、研究機関などと連携し、デジタル技術の活用により地域課題の解決を図る「デジタルハブ」を10月開設に向け準備しています。

栃木県の産業の将来像 ～サービス業～

— 経済がサービス産業化する中で、サービス業の振興については、どのようにお考えですか。

福田 AIの活用などにより、多様なサービス業が生まれてきています。この分野は、特に女性が活躍できる職



福田 富一 (ふくだ とみかず)

1953年 栃木県生まれ
1972年 4月 栃木県庁奉職
1979年 3月 日本大学理工学部建築学科卒業
1981年 4月 栃木県庁退職、建築設計・行政書士事務所を開設
1983年 4月 宇都宮市議会議員 初当選
1991年 4月 栃木県議会議員 初当選
1999年 4月 宇都宮市長 初当選
2004年 11月 栃木県知事 初当選
2020年 11月 栃木県知事 5期目当選

種が多いのではないかと考えており、女性の県内定着を促進するためにも、大いに振興していきたいと思っています。例えば、宇都宮市には、文星芸術大学というデザインやデッサンなどを専門に教える大学があります。ちばてつやさんが学長なのですが、この大学がハブとなって、栃木県にアニメーション産業が育たないだろうか、と期待しています。

知事を目指した きっかけと志

—ここで、福田知事ご自身のことをお伺いできればと思います。知事を目指されたきっかけは何だったのでしょうか。

福田 そもそも政治を目指すきっかけは、県庁職員として9年間勤めた中で、栃木県の行政をより良いものにしていくためには、政治家になるしかないと思ったからです。私は、政治家の家系ではなく、労働組合の幹部でもありませんでしたが、私のような普通の人間が、政治家を志してもいいのではないか、と思ったのです。

初めは、市議員、県議員として活動しましたが、議員が議場で提言しても、なかなか実現することは難しい。例えば、私は議員時代に、「少人数（30人）学級の実現」を提案しましたが、実現できませんでした。やはり、執行部の長になるしかない、と思い、知事に立候補しました。その結果、全国に先駆けて、「少人数（35人）学級」を実現することができました。

—県庁職員を辞めて、政治家を目指すというのは、かなり思い切った行動だったのではないのでしょうか。

福田 県庁を辞める際の送別会で、「将来知事室に入れるように頑張ります」と言ったところ、冗談を言っているとかわれ、笑われてしまいました。

—最後に、福田知事の人生の指針をお教えてください。

福田 政治家として心がけていることは「先憂後楽」です。この言葉は、政治家の大先輩である元参議院議員の岩崎純三先生にお教えたいただきました。実業家であれば、自分の楽しみ



を優先してもかまわないが、政治家は、自分の楽しみは後にして、人様のために骨を折る、人様の問題を解決する、そういうことができなければ、政治家になってはならない、と教わりました。今でも肝に銘じています。

—本日は、大変ありがとうございました。



インタビュー後記

私は、栃木県南東部の真岡市で出生し、小中学校当時は、夏休みのほとんどを真岡市の親戚宅で過ごしていました。そのご縁もあり、経済産業省栃木県人会長を務めさせていただき、何度も福田知事にはお会いしておりました。しかし、今回改めてじっくり福田知事のお話をお伺いし、福田知事に魅了されました。栃木県のことをあまりご存じない皆様には、是非一度栃木県を訪れていただければと思います。

聞き手：当協会専務理事
前野 陽一

栃木県データ

県庁所在地：栃木県宇都宮市埴田1-1-20
人口：1,924,010人
(2021年5月1日現在)
面積：6,408.09㎡
交通：宇都宮—東京／新幹線で最速48分
宇都宮—羽田空港／電車で約1時間30分
宇都宮—成田空港／車で約1時間30分
宇都宮—京浜港／車で約2時間
ランキング：農業産出額全国第9位（令和元年）
製造品出荷額等全国第12位（平成30年）
URL：<https://www.pref.tochigi.lg.jp/>

世界遺産に登録された「日光の社寺」に代表される優れた歴史文化、四季折々の美しい自然、豊富な温泉、イチゴや和牛、湯波などの多彩な特産物、結城紬や益子焼などの伝統工芸品、更には各地に根付いている伝統芸能など、魅力的な資源に恵まれ、毎年、県内外からの多くの観光客で賑わう。



とちあいか

